



MimakiProfileMaster

Mimaki

クイックリファレンス

このマニュアルは以下の手順を簡潔に説明しています。

- デバイスプロファイルの作成
- Raster Link シリーズへのプロファイルのインストールとアンインストール

MPM のインストール方法は、別冊のインストールガイドを、
詳細な取扱方法については、別冊のリファレンスガイドをご
覧ください。

プロフィールについて

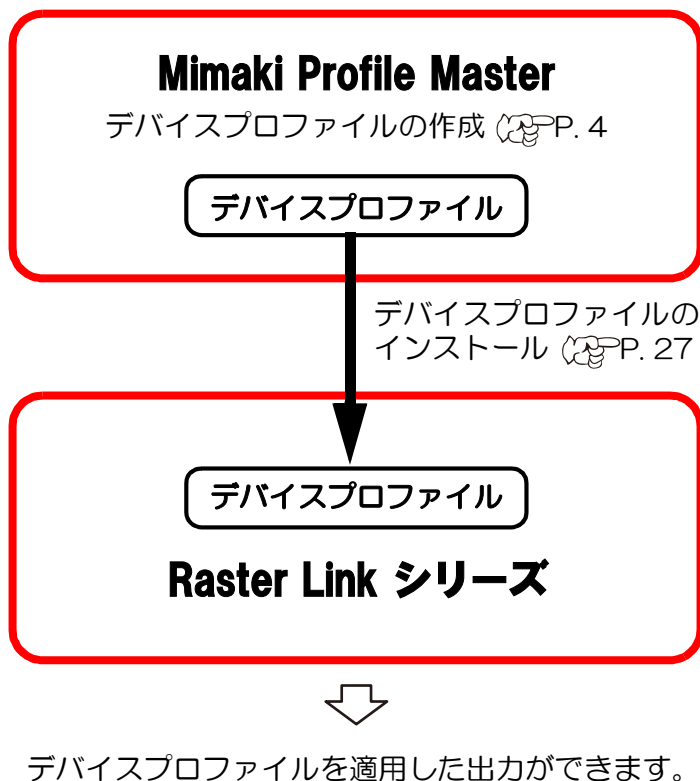
Raster Link シリーズで使用する出力プロフィールを“**デバイスプロフィール**”と呼びます。MPM で作成できるプロフィールは、以下の 2 種類です。

- Raster Link シリーズで使用される、拡張子が [cot] のファイル
- Raster Link シリーズ (Raster LinkPro II v3 以降) で使用される拡張子が [icc] のファイル

拡張子が cot のデバイスプロフィールは、Raster Link シリーズ用の独自フォーマットのファイルで、RIP 処理に必要な様々な情報が書き込まれています。

また、拡張子が icc のデバイスプロフィールは、ICC 準拠のフォーマットで Mimaki 独自の情報が追加されています。ICC プロファイルに対応した他社 RIP アプリケーションで出力プロフィールとして使用できます。

MPM で作成したデバイスプロフィールを Raster Link シリーズにインストールすることによって、作成したデバイスプロフィールを適用した出力ができます。




MPM トライアル版の制限事項

MPM トライアル版を使用する場合、以下の制限があります。

- 使用期間は 60 日間です。
- メディア登録ができません。
- ICC プロファイルの作成 / 編集ができません。

MPM を起動する

- 1**  をダブルクリックし、MPM を起動します。

MimakiProfile
Master

はじめて MPM を起動すると右の画面を表示します。



- ★ 2 回目以降の起動時でも、メディア名登録、測色器選択をしていない場合は、右の画面を表示します。



- 2** **設定** をクリックし各種設定をします。

- ★ 「>> メディア名の登録」「>> 測色器の選択」の設定方法について、詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

デバイスプロフィール作成の流れ

◆フォーマットの選択 P. 5

お使いの Raster Link によって、デバイスプロフィールのフォーマットを選択します。
Raster Link Pro II Ver.3 以降の場合 : プロファイル (V3) を選択
すべての Raster Link シリーズで使いたい場合: プロファイル (V2) を選択

◆プロフィール条件の設定 P. 6

デバイスプロフィールを作成するときの条件 (プリンタ、インクセット、解像度など) を設定します。

◆メディア固有情報の設定 P. 7

必要な場合は、メディア固有情報 (メディア補正值、ヒーター温度) を設定します。

◆バリエブルドットの設定 (VD 選択時のみ) P. 8

出力するインクセットに合ったバリエブルドットを選択し、出力確認します。

STEP1. で選んだフォーマットによって作成手順が変わります。

プロフィール (V3) を選んだ場合

プロフィール (V2) を選んだ場合

◆全体のインクリミットの調整 (プロフィール V3 を選んだとき) P. 9

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ) P. 13

メディアに合ったライトインクの使用方法を選択し、出力確認します。

◆リニアライゼーションの調整 P. 14

チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。自動調整された CMYK 各色のグラデーションがなめらかになっているか出力確認します。

◆3 次色のインクリミットの調整 (プロフィール V3 を選んだとき) P. 16

チャートを出力して、3 次色のインクリミットを調整します。

◆グレーバランスの調整 P. 18

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているか出力確認します。

◆ICC プロファイルの作成 P. 20

チャートを出力、測色することによって、ICC プロファイルを作成します。

◆プロフィールの保存 P. 24

作成したデバイスプロフィールを保存します。

◆インクリミットの調整

(プロフィール V2 を選んだとき)  P. 11

チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを調整します。

◆ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ) P. 13

メディアに合ったライトインクの使用方法を選択し、出力確認します。

◆リニアライゼーションの調整 P. 14

チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。自動調整された CMYK 各色のグラデーションがなめらかになっているかを出力確認します。

デバイスプロフィールを作成する

フォーマットの選択

お使いの Raster Link に合わせて、デバイスプロフィールのフォーマットを選択してください。

すべての Raster Link シリーズで使用できるプロフィールを作成したい場合

→ プロファイル (V2) を選択してください。

Raster Link Pro II のバージョンが Ver.3 以降の場合

→ プロファイル (V3) を選択してください。

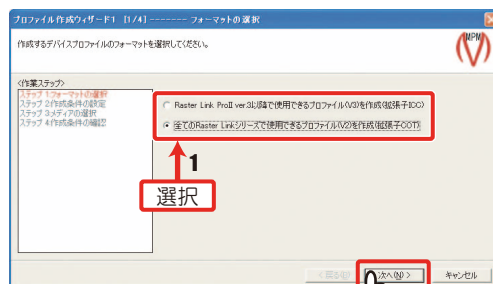
プロフィール (V3) では、より高画質な出力結果が得られます。

1 [デバイスプロフィール] タブを選択し、“新規作成” をクリックします。

プロフィール作成ウィザード 1 が表示されます。



2 お使いの Raster Link シリーズに合わせてフォーマットの選択をします。



3 [次へ] をクリックします。

フォーマットが選択されます。



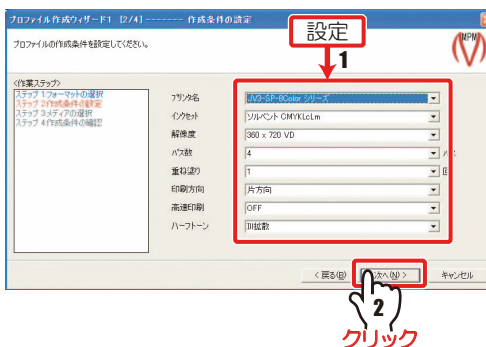
6 ページ「プロフィール条件の設定」へ続く ➡

プロフィール条件の設定

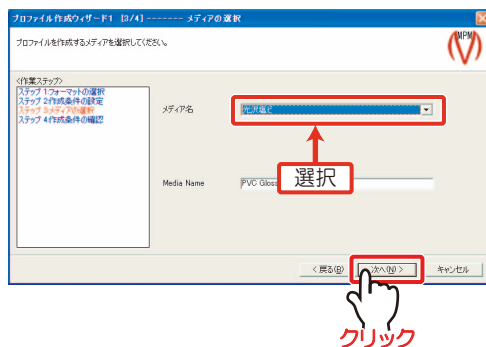
プロフィール作成に必要な条件と、使用するメディアの選択をします。

← 5 ページ「フォーマットの選択」から

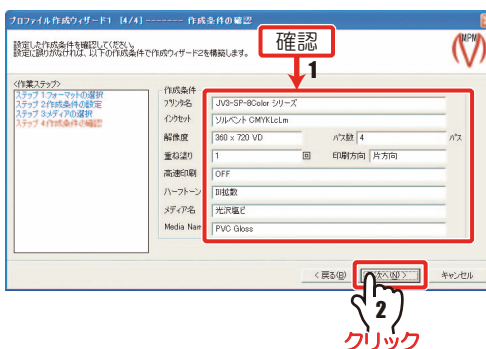
1 プロファイルの作成条件を設定し、**次へ** をクリックします。



2 メディア名を選択し、**次へ** をクリックします。



3 設定した作成条件を確認します。



4 **次へ** をクリックします。

プロフィール作成ウィザード 2 が表示されます。

重要!

★ プロファイル作成ウィザード 2 から、プロフィール作成ウィザード 1 へ戻ることはできません。プロフィールウィザード 2 に移ってからプロフィール条件を変更する場合は、**キャンセル** をクリックして、手順 1 からやり直してください。

7 ページ「メディア固有情報の設定」へ続く ➡

メディア固有情報の設定

必要な場合は、メディア固有情報（メディア補正值、ヒーター温度、ドットサイズ、メディア送り速度）を設定します。

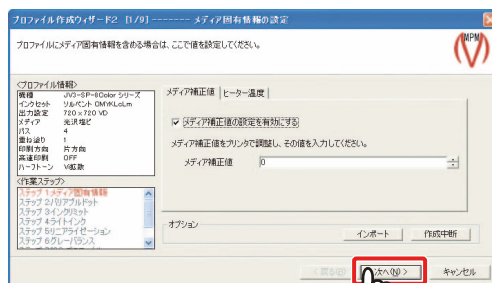
← 6 ページ「プロファイル条件の設定」から



★ 詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

1

次へ をクリックします。



クリック

8 ページ「バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ）」へ続く ➡

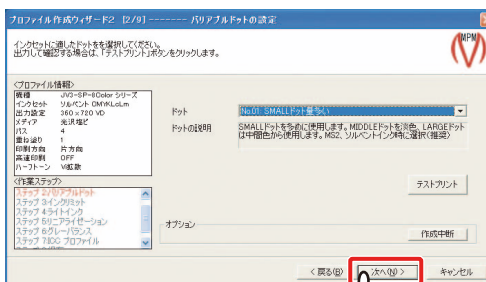
バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ）

重要!

★バリアブルドットを含む解像度を選択していない場合は表示しません。
9 ページ「全体のインクリミットの設定（プロファイル V3 を選んだ場合）」または 11 ページ「インクリミットの設定（プロファイル V2 を選んだ場合）」に進みます。

← 7 ページ「メディア固有情報の設定」から

1 **次へ** をクリックします。



プロファイル（V2）を選んだ場合
11 ページ「インクリミットの設定（プロファイル V2 を選んだ場合）」へ続く ➡

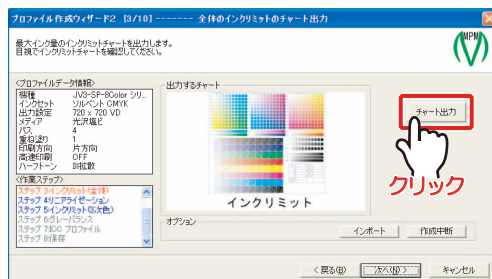
プロファイル（V3）を選んだ場合
9 ページ「全体のインクリミットの設定（プロファイル V3 を選んだ場合）」へ続く ➡

全体のインクリミットの設定（プロファイル V3 を選んだ場合）

← 8 ページ「バリエブルドットの設定（バリエブルドット選択時のみ）」から

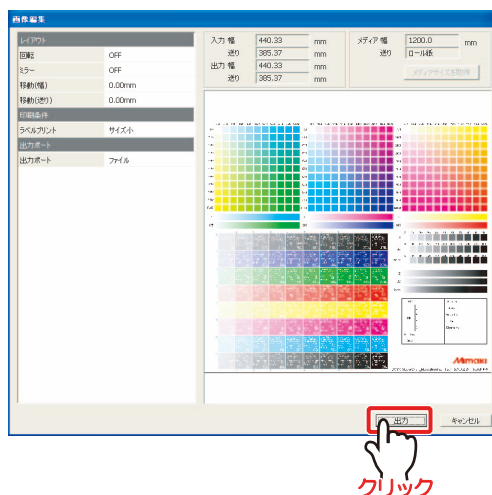
1 **「チャート出力」** をクリックします。

★ チャート出力の詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

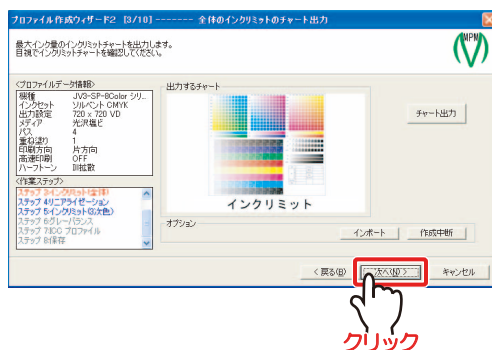


2 **「出力」** をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。



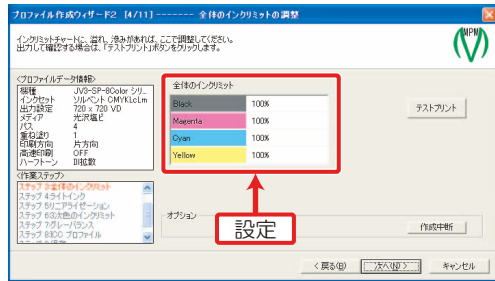
3 **「次へ」** をクリックします。



4 出力した画像から、各色のインクリミットを決定します。

5 全体のインクリミットを入力します。

各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。



6 テストプリント をクリックし、出力確認します。

★ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

7 次へ をクリックします。

13 ページ「ライトインク使用比率の設定（ライトインク選択時のみ）」へ続く



インクリミットの設定（プロファイル V2 を選んだ場合）

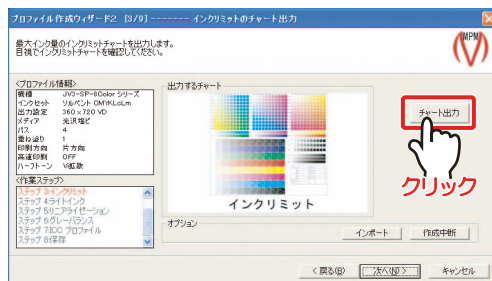
チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを設定します。

← 8 ページ「バリアブルドットの設定（バリアブルドット選択時のみ）」から

1 チャート出力 をクリックします。

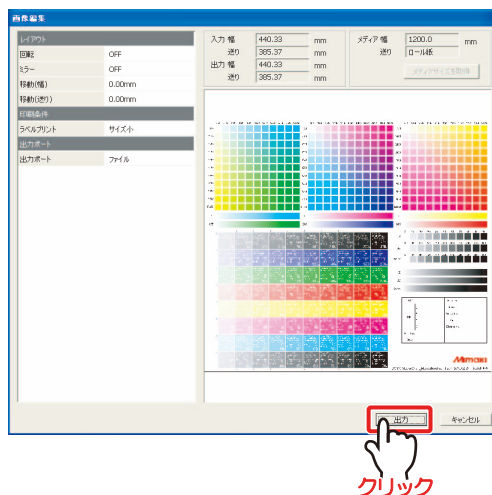


★ チャート出力の詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

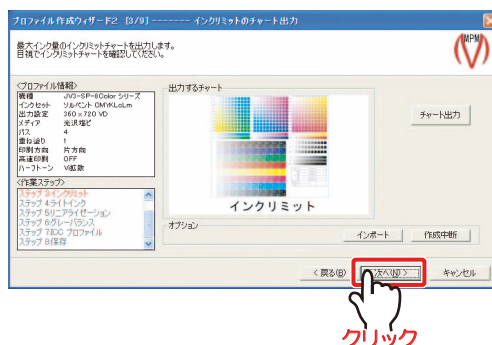


2 出力 をクリックします。

PC と接続しているプリンタに出力を開始します。

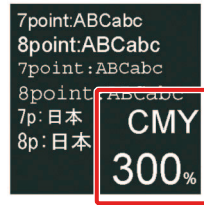


3 次へ をクリックします。



4

出力したチャートから 3 色 (CMY)のトータルインク量を決定します。

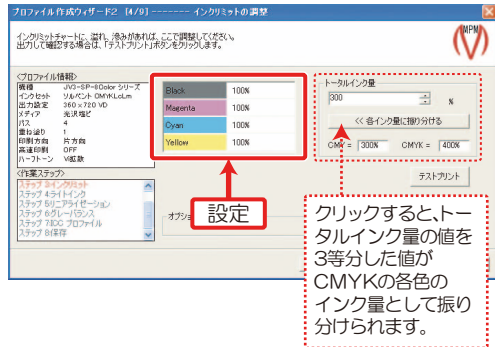


CMY各色100%ずつ出力

5

インクリミットを入力します。

各色の数値部分をクリックすると数値入力ができます。



★ 手順4 で決めたトータルインク量を CMYK 各色に均等に分配したいときは、**各インク量に振り分ける** をクリックしてください。トータルインク量を3等分した値が、CMYK 各色のインク量として適用されます。

6

テストプリント をクリックし、出力確認します。



★ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

7

次へ をクリックします。

13 ページ「ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)」へ続く ➡

リニアライゼーションの調整

チャートを出力し、測色することによって、CMYK インク各色の階調特性を自動調整します。
(ライトインクは、調整しません)

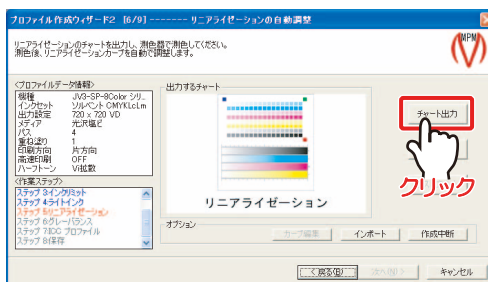
自動調整された CMYK 各色の単色のグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。

重要!

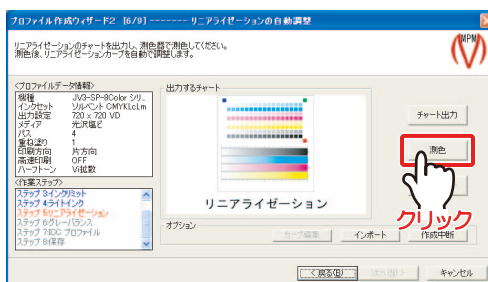
- ★ インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値を測れないことがあります。
- ★ プロファイル (V2) を選択した場合、長時間放置してもインクが乾かないときは、インクリミットを下げて再度測色チャートを出力してください。

← 13 ページ「ライトインク使用比率の設定 (ライトインク選択時のみ)」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出します。



2 **測色** をクリックします。



3 **測色する** をクリックします。

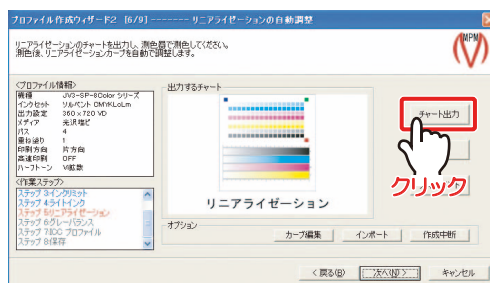


★ 測色の詳細はリファレンスガイドをご覧ください。



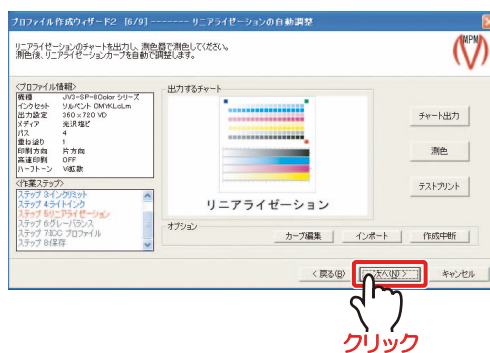
4 **「チャート出力」** をクリックし、測色結果を確認します。

自動調整した結果を出力し、確認します。



5 チャートの目視確認部で、各色のグラデーションがなめらかになっているかを確認します。

6 **「次へ」** をクリックします。



プロファイル (V2) を選んだ場合
18 ページ「グレーバランスの調整」へ続く ➡

プロファイル (V3) を選んだ場合
16 ページ「3 次色のインクリミットの設定
(プロファイル V3 を選んだ場合)」へ続く ➡

3次色のインクリミットの設定（プロファイルV3を選んだ場合）

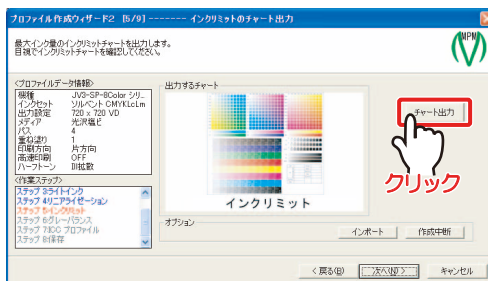
チャートを出力して、メディアに乗せることのできるインクリミットを設定します。

← 15 ページ「リニアライゼーションの調整」から

1 **チャート出力** をクリック
します。

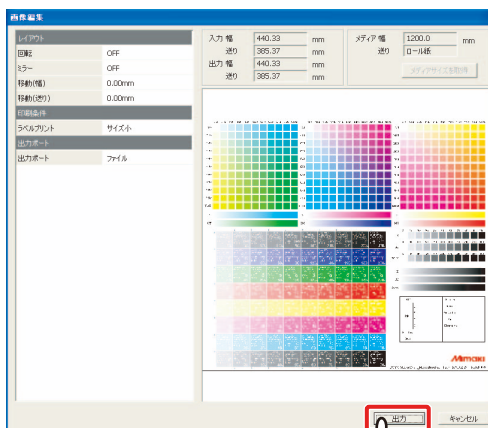


★ チャート出力の詳細はリ
ファレンスガイドをご覧ください。

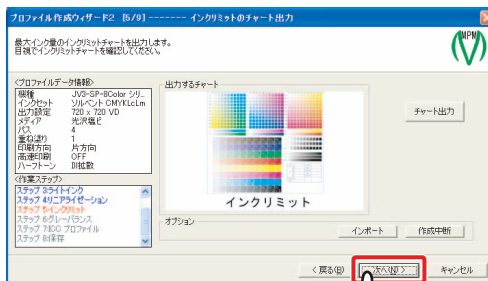


2 **出力** をクリックします。

PCと接続しているプリンタに出力を
開始します。



3 **次へ** をクリックします。

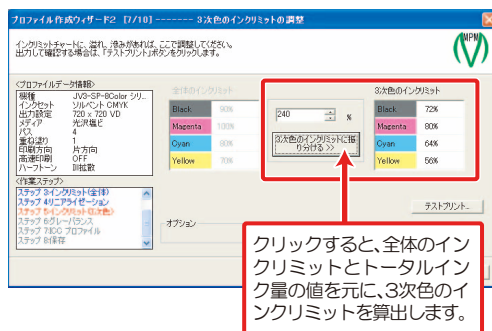


- 4 出力したチャートから 3 色 (CMY)のトータルインク量を決定します。



CMY各色100%ずつ出力

- 5 3 次色のインクリミットを決定します。



- 6 **テストプリント** をクリックし、出力確認します。

★ テストプリントの詳細は、リファレンスガイドをご覧ください。

- 7 **次へ** をクリックします。

18 ページ「グレーバランスの調整」へ続く



グレーバランスの調整

チャートを出力し、測色することによって、CMY の混色で表現されるグレーの階調特性と色みを自動調整します。

自動調整されたグレーのグラデーションが、なめらかになっているかを確認します。

ライトインク、バリアブルドットは、CMYK 各色の構成色ととらえるため、調整しません。

← プロファイル (V2) を選んだ場合
15 ページ「リニアライゼーションの調整」から

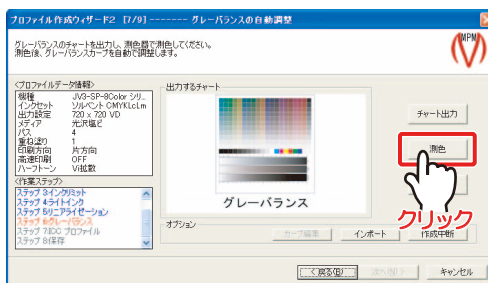
← プロファイル (V3) を選んだ場合 17 ページ「3 次色のインク
リミットの設定 (プロファイル V3 を選んだ場合)」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。

2 **測色** をクリックし、出力したチャートを測色します。

重要!

★ インクが乾燥してから測色してください。正しい測色値が測れないことがあります。

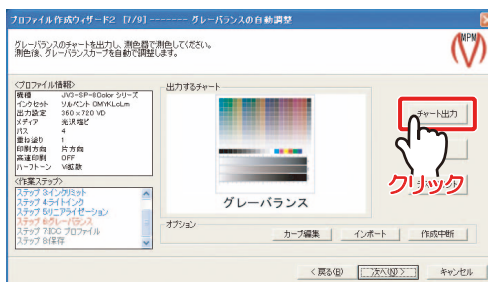


3 **測色する** をクリックします。

★ 測色の詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

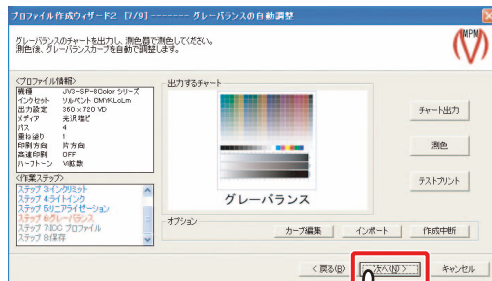


4 **チャート出力** をクリックし、自動調整した結果を出力します。



5 チャートの各色のグラデーションがなめらかになっているかを確認します。

6 **次へ** をクリックします。



クリック

20 ページ 「ICC プロファイルの作成」へ続く ➡

ICC プロファイルの作成

チャートを出力し、測色することによって、ICC プロファイルの作成をします。
この項目は、Raster Link シリーズの「カラーマッチング」で、「ICM」を選択した場合に適用されます。

← 19 ページ「グレーバランスの調整」から

1 **チャート出力** をクリックし、測色用のチャートを出力します。



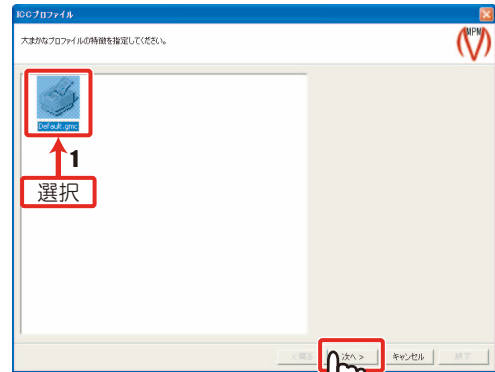
2 **ICC プロファイル作成** をクリックします。



3 **測色する** をクリックします。



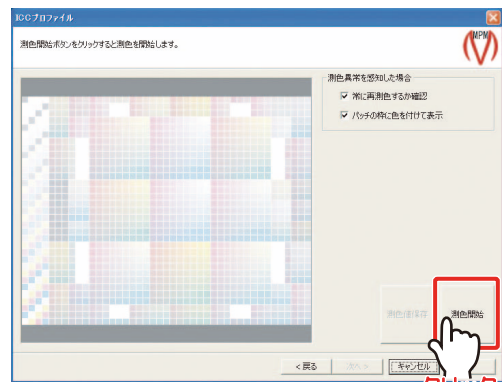
4 GMC ファイルを
選択します。



5 **次へ** をクリックします。

クリック

6 **測色開始** をクリックしま
す。



クリック

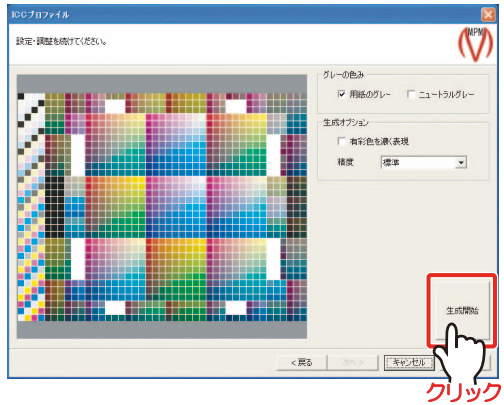
7 測色が終了したら、
次へ をクリックします。



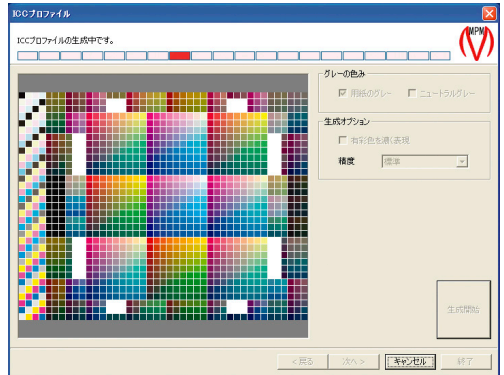
クリック

8

生成開始 をクリックします。

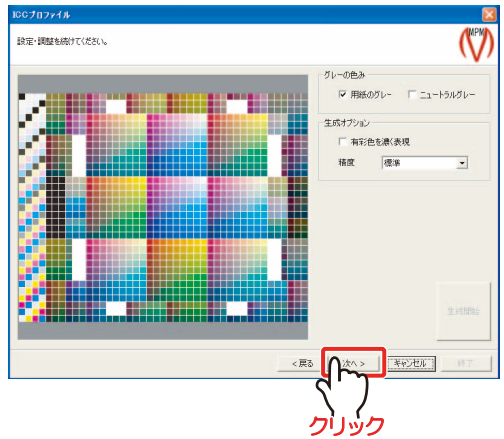


右の画面を表示し、ICC プロファイルを作成します。



9

次へ をクリックします。

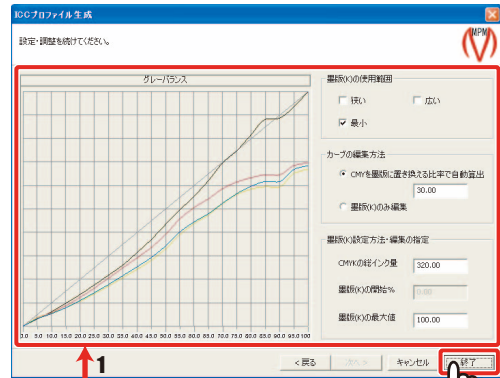


10

墨版の設定をします。



★ 詳細はリファレンスガイド
をご覧ください。



11

終了 をクリックします。

右の画面を表示します。



12

OK をクリックします。

プロフィール作成ウィザードに戻ります。



14

確認できたら、

次へ をクリックします。



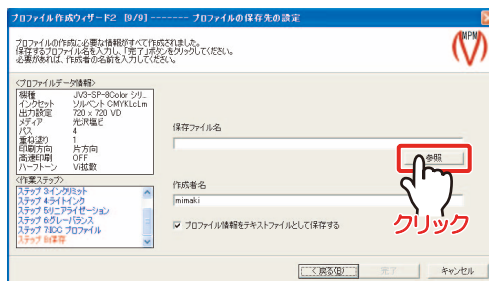
24 ページ「デバイスプロフィールの保存」へ続く ➡

デバイスプロファイルの保存

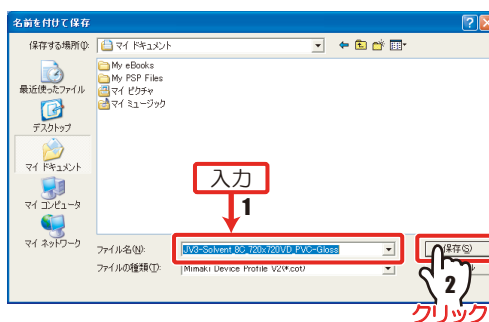
作成したデバイスプロファイルを保存します。

← 23 ページ「ICC プロファイルの作成」から

1 **参照** をクリックします。

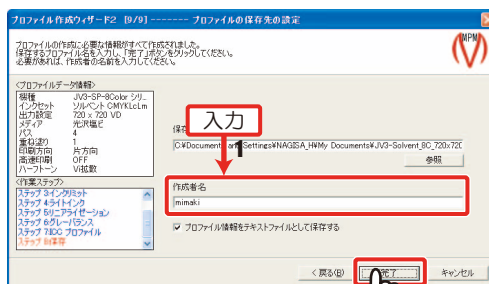


2 ファイルの保存先を指定し、
ファイル名を入力します。



3 **保存** をクリックします。
「プロファイル作成ウィザード」に戻ります。

4 作成者名を入力します。



5 **完了** をクリックします。

デバイスプロファイルの作成が完了し、
メインメニューに戻ります。

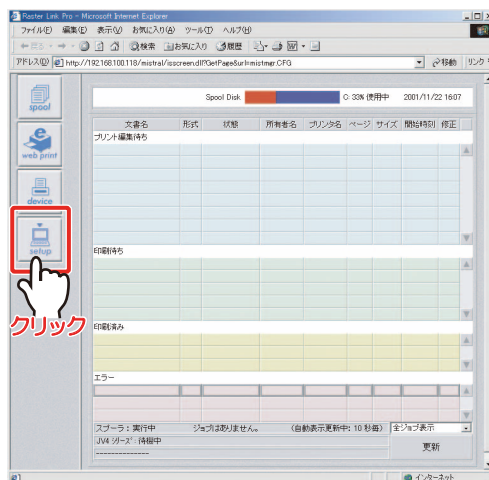
Raster Link Pro にデバイスプロファイルをインストールする

作成したデバイスプロファイルを Raster Link シリーズにインストールします。

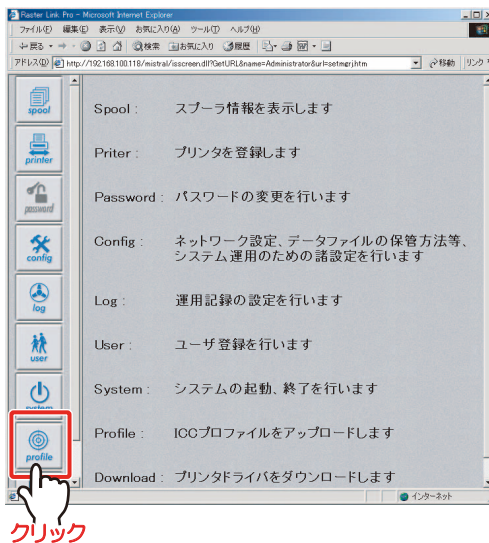
- 1 MPM が終了していることを確認し、Raster Link Pro を起動します。

spool 画面を表示します。

- 2 **setup** をクリックします。

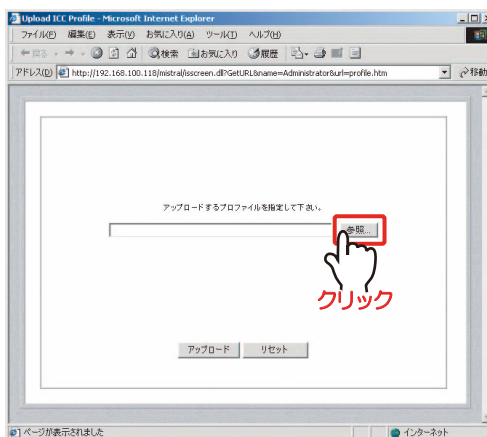


- 3 **profile** をクリックします。



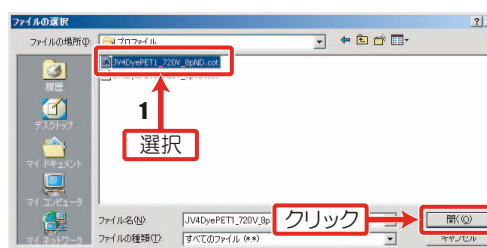
4

参照 をクリックします。



5

追加したいデバイスプロファイルを選択します。

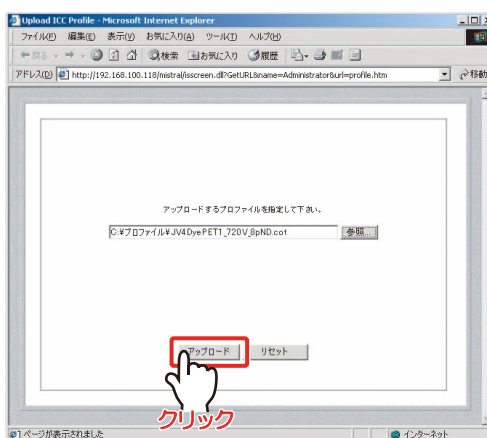


6

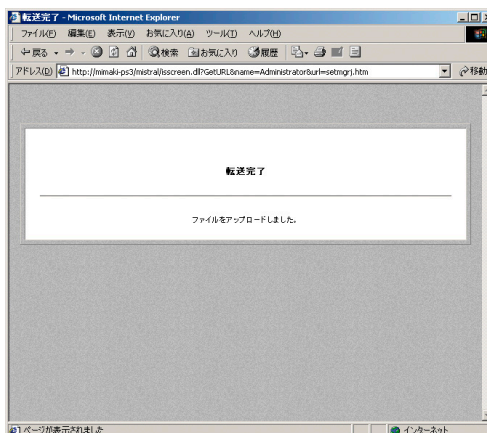
開く をクリックします。

7

アップロード をクリックします。



転送完了の画面になります。



8

PC を再起動します。

プロファイルのインストールが完了します。

Raster Link UJ/GP/Pro II への プロフィールのインストール・アンインストール

Raster Link UJ/GP/Pro II にインストールする

ProfileManager を使って、Raster Link UJ/GP/Pro II にプロフィールをインストールします。

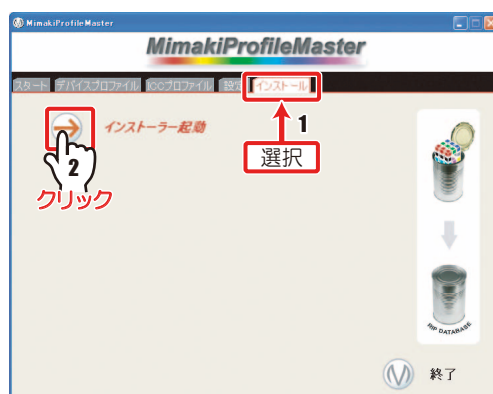
重要!

- ★ “ProfileManager” 起動中は、MPM を使用できません。
- ★ インストール候補で表示するプロフィールの拡張子は、デバイスプロフィールと入カプロフィールで異なります。
デバイスプロフィールの場合.cot または、icc ファイル
入カファイルの場合.icc または、.icm ファイル



1

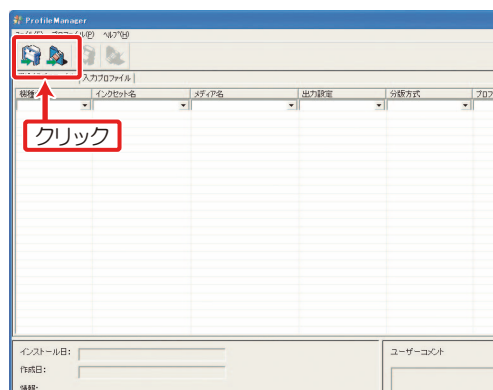
[インストール] タブを選択し、“インストーラー起動” をクリックします。

ProfileManager が起動します。



2

デバイスプロフィールをインストールする場合は  を、
入カプロフィールをインストールする場合は  を
クリックします。

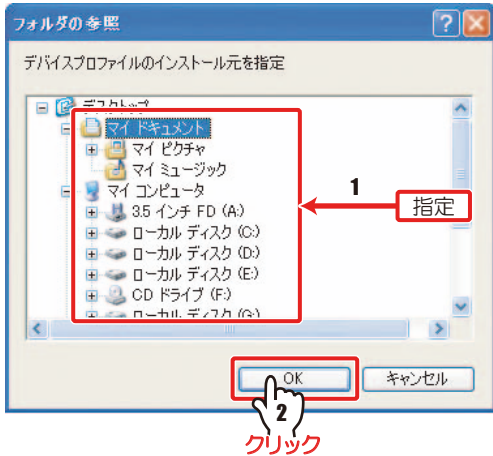


“フォルダの参照” ウィンドウが表示されます。

3

プロフィールが保存されているフォルダを指定します。

★ プロファイルをひとつのフォルダに保存しておくと、インストールが1度で行え、便利です。

**4**

OK をクリックします。

“インストール候補” ウィンドウが表示されます。

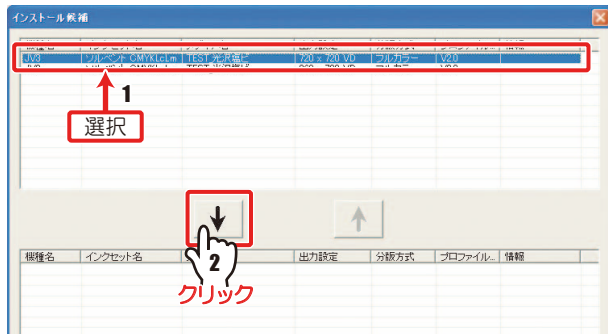
★ 指定したフォルダに対象となるプロフィールがない場合、エラーメッセージを表示します。

5

インストールするプロフィールを選択します。

★ 複数を選択する場合、Ctrl キーを押しながら選択します。

選択したプロフィールが青色に反転します。

**6**

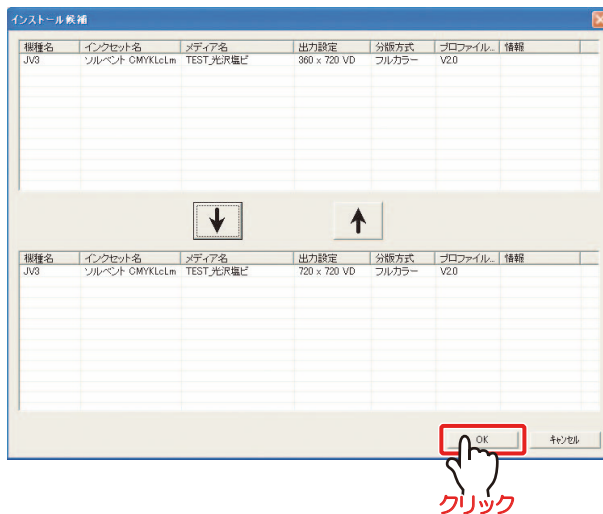
↓ をクリックします。

選択したプロフィールが上のリストから消え、下のリストに表示します。

7 OK をクリックします。



★ リストに同一設定のプロファイルがある場合、上書きの確認ダイアログが表示されます。



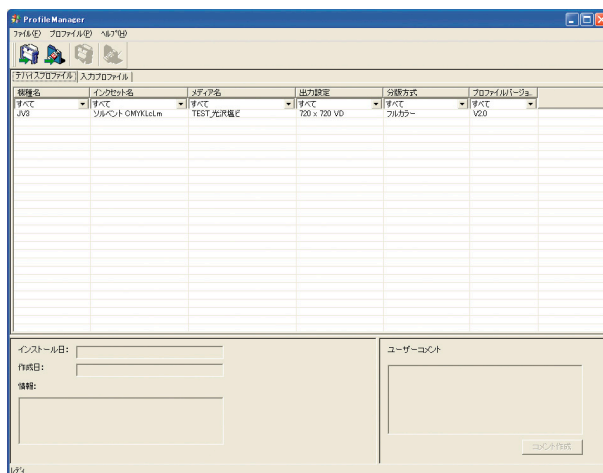
右のダイアログが表示されます。

8 OK をクリックします。

ProfileManager のリストに追加したプロファイルが表示され、プロファイルのインストールが完了します。



★ デバイスプロファイルをインストールした場合は[デバイスプロファイル]タブに、また、入力プロファイルをインストールした場合は、[入力プロファイル]タブにインストールしたプロファイルを表示します。



Raster Link UJ/GP/Pro II からプロフィールをアンインストールする

Raster Link UJ/GP/Pro II にインストールしたプロフィールをアンインストールします。

★ デバイスプロフィールと入カプロフィールのアンインストール方法は同じです。

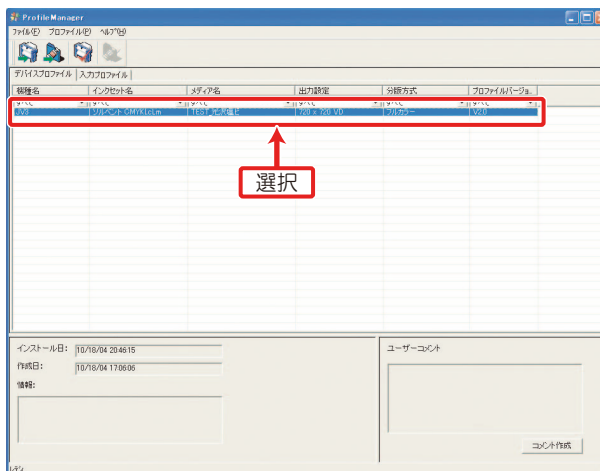
- 1 [インストール] タブを選択し、“インストーラー起動”をクリックします。



ProfileManager が起動します。

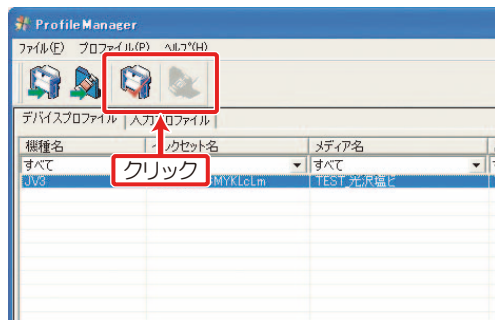


- 2 [デバイスプロフィール] または、[入カプロフィール] にあるリストから、アンインストールしたいプロフィールを選択します。

選択したプロフィールが青色に反転します。

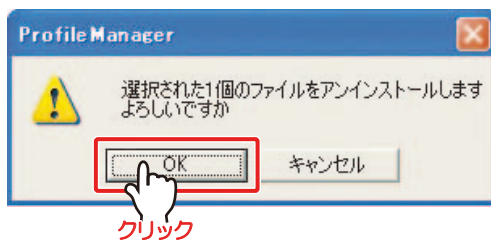


- 3 デバイスプロファイルアンインストールの場合は  を、
入力プロファイルアンインストールの場合は  を
クリックします。



確認のダイアログを表示します。

- 4 **OK** をクリックします。



右のダイアログを表示します。

- 5 **OK** をクリックします。

ProfileManager のリストからアンインストールしたプロファイルが削除され、プロファイルのアンインストールが完了します。

